

修了生挨拶

本日は修了生のためにこのような式典を催していただき誠にありがとうございます。また、ご多忙の中ご出席くださいました先生方に深くお礼申し上げます。

マルチディメンジョンプログラムにはプログラムが立ち上がった2014年以来、3年半にわたりお世話になりました。多角的な視点を持つリーダーの育成を目指すというプログラムの趣旨に強く共感し、志望したマルチディメンジョンプログラムですが、この3年半を振り返ると一般の大学院生ではできないような貴重で多くの学びある経験をさせていただくことができたと感じます。特に思い出深いのはプログラムが課す企業・海外・プログラム内インターンシップです。企業インターンシップでは企業における研究者として、海外インターンシップでは海外の研究所で様々な国からきた研究者とともに仕事を進める研究者、といった具合に研究室の一学生という自分の立場をいろいろな立ち位置に変えることができた体験で、学生でありながら様々な立場を経験した人間に成長するための機会を頂いたとおもっています。また、節目に設けられた **Qualifying Examination QE1, QE2** では企業委員の先生方から研究室内で受ける学術的な視点以外の観点からコメントを頂戴することができ、私たちが日々邁進している研究の学術的な価値だけでなく日本社会における重要性や自分の研究が作り出す未来予想図まで、位置づけをより深くとらえなおすきっかけになりました。

来年度からは産業界へと進み、民間企業において研究開発に従事します。リーディングプログラムで学び身に着けたことを今後のキャリアにいかし、専門分野の枠を超えて活躍できる研究者を目指していきたいと思っています。

最後になりますが、マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラムの創設・運営にご尽力いただき、このプログラムで学ぶ機会を与えてくださいましたプログラム担当の先生方、プログラム内の授業でご指導いただきました先生方、プログラム生としての生活を支援いただきました職員の方々、それから今日まで共に学んだマルチディメンジョンプログラムの学生の皆様に心からお礼申し上げますとともに、リーディングプログラムのますますの発展をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

平成 29 年 9 月 26 日

マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム修了生

岡田 篤